



神奈川県立中原養護学校 学校便り

# Nakahara News

神奈川県立中原養護学校

第6号 H29.10.23

2 学期は大きな行事も多く、児童生徒の活躍の場が盛りだくさんです。教室からは楽しい音楽が聞こえ、たくさんの笑顔がはじけています。

今回は、前回の小学部・中学部・高等部 A 部門に続き、高等部 B 部門と住吉分教室の様子を紹介いたします。

## 本校（高 B）

高等部は社会に巣立つための最後の 3 年間となります。授業はそのための内容で組み立てられています。特に「職業」「作業学習」の時間は、卒業後に「働く」ことを意識した授業です。また、校内実習や現場実習、校外学習での職場見学など、**実体験をすることで主体的に進路を考える**取組も行っています。一方で、**高校生としての楽しみや、現在の家庭生活・社会生活に直結**するような学習内容も大切です。私たち高 B の職員は、授業の中だけでなく、例えば通学途上のこと、人とのつきあい方、日常の手伝い、買い物や外出、余暇の楽しみなど、生活のあらゆることに目を向け、思いを巡らせ、指導をしています。その中で、保護者の皆様との連携はもちろん、役所や福祉事業所、企業等の関係機関との連携は欠かせません。**今年度より「学部コーディネーター」が支援・連携の担当として 1 名配置されています。**専任の教育相談コーディネーターや進路担当との協力体制のもと、指導に関わるさまざまな課題解決に**学部職員が共通理解して指導に当たれるように調整機能**を果たしています。



写真は、9 月に行われた 1 年生宿泊学習での「ちらし寿司作り」の様子です

## 住吉分教室

分教室では毎年、住吉高校で行われる文化祭、羽月祭に参加しています。今年も作業班の活動が体験できるコーナーをつりました。環境班は手作り石けんに好きな絵を付ける体験、手工芸班は刺繍の体験、今年度新たに立ち上げた事務サービス班では、名刺のテンプレートに名前や住所などをパソコンで入力してもらい体験してもらいました。住吉高校の PTA の方や、保護者の方にたくさん来ていただき、盛り上がりました。普段は正確に、能率よく作業をすることを目標に活動している生徒ですが、羽月祭ではお客様に分かりやすく説明するなど、対応の仕方を勉強することができました。



※ 裏面に 1 1 月の行事予定を掲載しています。予定は変更することがありますので、ご了承下さい。